

館 報

おみ

9月号
No.714

2026. 9.25 (令和8年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲地域交流センターで初めての敬老会（9月16日撮影）関連記事4面

秋の例大祭・奉納獅子

秋はお祭りなどが各地区で行われました。そのなかから伝統の獅子舞が披露された三地区を紹介します。

市野川神社秋季例大祭

市野川神社で九月二十三日に例大祭が執り行われました。

村長をはじめ地区の方々の前で、村の無形文化財に指定されている市野川神楽の奉納獅子舞が聖民芸保存会により披露され、そのあとに令和元年度以来となる



▲市野川神社の奉納獅子舞



▲伝統ある「三面の舞」

「三面の舞」が奉納されました。保存会では、この神事をするようなかたちであれ、残していきたいと話していました。

下桑山太神宮秋祭り

下桑山の太神宮では九月二十三日に秋祭りが行われました。

屋台が出店し、午前には神事が執り行われ、午後には、地域の方々が見守る中、舞台では奉納獅子舞が披露され、賑わいをみせていました。



▲太神宮拝殿での神事

上井堀太神宮秋祭り

上井堀太神宮秋の例大祭が九月十三日に開催されました。

太神宮では、伝統ある太鼓と笛に合わせて奉納獅子

舞が披露されました。その後、上井堀公民館に地区の皆さんが集まってお祭りが行われ、そのなかで上井堀・丸山育成会の子どもたちによるソーラン節が披露されると、大きな拍手が沸き起こっていました。



▲上井堀の奉納獅子舞



▲子どもたちのソーラン節



八月までの暑さと、太陽はどこに行ってしまったのか。

米の収穫シーズンだといふのに、異例

の長雨が続き、気象庁データによると、ここ一か月の日照時間は平年の六十二%で深刻な日照不足だ。

例年だとコンバインの音が毎日聞こえてくる頃だが、雨の音ばかりで黄金色の穂はどんどん傾いていくばかり。

ハゼ掛けをしている田んぼがあるため毎日週間天気予報とにらめっこ状態で、土日の曇天日に人員も確保でき、なんとか終わらせたが、今年はそこからもまだ雨が続き、シートはかけたものの、脱穀がいつできるかで本当に悩ましかった。

彼岸が過ぎ、やっと晴れ間が見える日が増え、田んぼにコンバインの音が響いている。世界中で異常気象の中、米作りは今後どうなってしまうのだろう。

第四回麻績学級

第四回麻績学級は、長野県政出前講座で「長野県の農作業事故・安全啓発」と題し、八月二十八日に地域交流センターで開催しました。



▲野焼き事故にも気をつけて

長野県農政部農村振興課地域営農係の阿部尊裕さんを講師にお迎えし、農作業中の事故と防止方法について講演していただきました。農作業死亡事故は、機械によるものが六十%を占め、特に乗用トラクターの転倒事故の比率が高いとのこと。近年トラクターには安全フレームの設置が標準化されたが、安全性を高めるには

シートベルトの着用が必要とのことです。

その他に、機械や高所作業にはヘルメットを着用すること、そして増加傾向にある熱中症に対しては休息と水分補給が必要と説明されました。

第二回

松本山雅サッカー教室

第二回松本山雅サッカー教室を九月十二日に村体育館で開催し、三十二人の親子が参加しました。



▲片山さんと一緒に記念撮影

松本山雅FCから片山真人さんと小林雄太さんを講師にお招きし、ボールのどこの部分を蹴れば良いかな

第五回麻績学級

ど説明を受けながら、チーム戦でコーンにボールを当てるゲームなどを行いました。最後は、片山さん恒例の大人対子どもチームにわかれて試合を行い、白熱した試合となりました。

第五回麻績学級は、松本市にある牛伏川堰堤（うし

ぶせがわえんてい）と金峯山牛伏寺（きんぼううさんごふくじ）の視察研修を、宮下健司さんを講師にお招きして九月十九日に行いました。

牛伏川堰堤は、明治から大正時代に旧内務省によって建設された石積みの砂防堰堤で、国の重要文化財であるフランス式の階段工などがあり、この後にできた麻績村にある国の登録有形文化財である葦澤石積堰堤との違い、地形や歴史などを解説されました。当日は数日前の長雨の影響で水量が多く、きれいで迫力ある光景が広がっていました。牛伏寺は、十一面観音を



▲迫力ある流れの牛伏川階段工



▲牛伏寺観音堂を宮下さんが解説

本尊とする厄除け観音として有名な真言宗のお寺で境内の如意輪堂、仁王門や観音堂といった貴重な建物、それにまつわる歴史などについて宮下さんより解説があり、皆さんは熱心に耳を傾けていました。帰りの際には御朱印帳を持参され、印を貰う方もいました。

「麻績かるた」より 「麻績村トリビア」

①月の里
園で句をよむ
旅の人



平安時代から、多くの旅人が冠着山に昇る月を和歌によんできました。

戦前、駅前通りにあった料亭「観月」を訪れた若山牧水ら歌人たちの親交は、この村に文学の痕跡を残しました。

俳句や茶道もさかんに行われて来たようです。

平成三年に開館した「信濃観月苑」は月を眺める場であると同時に、コンサートや作品展を開催することで文化交流の歴史を今も引き継いでいます。

中学生たちが 麻績村の将来を考えた

筑北中学校の筑北祭が九月十九日に開催され、生徒会企画で「三十年後の麻績村」をテーマに生徒と住民の方々などが討論し、生成AIを使った未来図を作成

しました。
商店、医療、観光や農業などの麻績村の現状と自分たちが思い描く未来について話し合いがもたれ、いろいろな意見や要望がでていました。
できあがった画像は、左記のとおりです。



▲筑北中学生たちが考えた「麻績村の30年後の未来」

※生成AIは、自ら獲得した学習結果から新たに創造することができる人工知能ですが、表現やデータなど事実と異なる場合があります。上記画像にも文字やキャラクターなどが事実と異なっている部分や誤りがあります。

麻績保育園 栗拾い＆焼き栗体験

ひまわり組とすずらん組の子どもたちが、「わくわくの村」の「たかちゃん」のお家にある栗の木で栗拾いを体験しました。

足を使って上手に毬栗（イガグリ）をこじ開けると、「大きいのが取れた！」と大喜び。その後、菅の沢地区の「トトロの森」へ移動し、木登りやジップラインで元気いっぱい遊びました。

待ちに待った焼き栗体験では、火を起こし土鍋の中に栗を投入。「土鍋で焼くのがまたいいんだよ」というたかちゃんのことば通り



▲鍋の中に栗を投入

じっくり焼き上がっていく様子を今か今かと楽しみに待ちました。

熱々の焼き栗ができあがると、「おおー、おいしそーう！」と歓声が上がりました。ほくほくでしたっぴり甘い焼き栗の栗を頬張り、「もっと食べたい！」と大満足の子どもたち。自分たちで拾った栗をその場で味わう、ぜいたくで楽しい秋の一日となりました。



▲焼いた栗はおいしいね！

地域交流センターで 初めて敬老会を開催

令和八年度の敬老会が九月十六日に開催されました。昨年度まで村体育館で開催されていましたが、気温の変化に対応できるエアコンがあるなどの理由から、



▲地域交流センターに大勢集まりました

地域交流センター三階のホールへ集まりました。

村内の各地区から申し込まれた七十五歳以上の招待者約八十人が集まり、村長のあいさつの後、議長の乾杯の発声で祝宴が始まりました。アトラクションの華乃美幸さんによる歌謡ショーがあり、久しぶりに会う方々同士で話に花を咲かせました。

最後に、会の締めとして万歳三唱が行われ、その返礼の万歳は若林茂富さん（市野川）が指名され、招待者全員が三回の「万歳」という大きな発声で両手を上げていました。

元氣通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

給食試食会

一年生の保護者の皆さんをお迎えし、七月十五日に給食試食会を行いました。

大好きなおうちの方と一緒に食べる給食は子どもたちにとっても特別だったようです。

「給食のスープはね、すごくおいしいんだよ!」とお



▲保護者と一緒に楽しい試食会



▲みんなでピース!

母さんに嬉しそうに教えるお子さんや、「瓶の牛乳、すごく懐かしい!」と感慨深そうに味わう保護者の方など、親子で楽しい給食の時間を過ごす姿があちこちに見られました。

保護者の皆様からは「ブロッコリーは歯ごたえが残っていて美味しかった」、「スープは薄味だと思ったけどこのくらいでよいのだと気付きになった」、「給食でいつも多様な食経験の機



▲牛乳大好き!

会を提供していただきありがた!」「ひとつひとつ丁寧に手作りしてくださるごはんは成長期の子どもたちにとってとてもありがたい!」など、たくさんの温かいご感想をいただきました。

今後は四年生と六年生の保護者の皆様を対象とした給食試食会も予定しています。

学校給食についてご理解を深めていただくとともに、給食試食会がお子様との大切な思い出の一ページとなることを願っています。

筑北中学校

セイジ・オザワ

松本フェスティバル

一年 市ノ瀬菜々

私は、八月二十六日にセイジ・オザワ松本フェスティバルに行ってきました。キッセイ文化ホールについて、筑北中の生徒の何倍もの人がいてとてもびっくりしました。座席もすごい数で、一階から四階くらいまである中で私達は、四階の一番前の席でも見えやすかったです。



▲文化ホール前で撮影

オペレッタは歌や言葉が外国語で言葉がわからなかったけれど、ステージの左右に字幕表示があつて内容がとてもわかりやすかったです。

またオペレッタを観に行ける機会があつたら行きたいと思いました。

長野県立美術館見学

二年 白木 妙音

私は夏休み中に、芸術部の活動で長野県立美術館へ行き、古代エジプト展と東山魁夷の作品を鑑賞しました。

古代エジプト展では、昔の人がどんな生活をしてたか、何を作っていたかなど、今まで全く知らなかった文化を知ることができてとても良かったです。

東山魁夷の作品では、景色をそのまま描くのではなく、自分の解釈で自由に色を表現しているところが良いなと感じました。

この鑑賞で感じたことを、今後の自分の作品にも活かしていきたいと思いました。

鎌で祈る

風祭りにについて

(その一)

はじめに

神社で斎行する祭りは、神霊を迎え祈る儀式で華やかな行事である。

風祭りは、台風や大風の強風による農作物や建物の被害を守る風鎮めの祭りであり、風がもたらす悪霊を払い、無病息災を願う祭りである。

風祭りの神器の主役は鎌であった。

麻績村の風祭り

村誌下巻、東筑摩郡・松本市・塩尻市誌、ふるさとの年中行事に風祭りについて掲載されている。

麻績村誌には、次のように記されている。

「九月に入ると二百十日、二百二十日の台風襲来のシーズンとなる。このような大風に対して風よけのまじないが行われる。」

市野川と矢倉の諏訪神社では、神主に依頼して風祭りの神事を行った。

また大風の時、鎌を竹の筆の先端につけ、更にアゲズイノウを縛りつけ、庭先か屋根などに立てかける。

風通しがよく、風の吹く方向に立てると、風を細かに切り、勢いが弱まるというまじないである」とある。



▲風切りのまじない

風祭りの呼び方について

二百十日中心の風祭りとは、風害を逃れるための祭りである。その呼び方は、

「風祭り」のほか「風よけ祭り」「八朔節句」「八朔祭り」「コウセン祭り」「トウセンボ」「オタノミ節句」「風の神送り」「風送り」「風鎮祭」「風神祭」などが県下にある。麻績は「風祭り」である。

風祭りは、諏訪大社の分社で、主に行われている。

風祭り・風神祭の

祀り方について

一、鎌とスノイカ（アゲズイノウともいう）をぶっちがいにして、竹竿・大柱などに縛り付け、屋根・庭木・戸口などの風の吹いてくる方向に鎌の刀を向けて立てる。

先端に彬の葉・ススキの穂・茅をつけるところもある。

スノノウで風をすくって鎌で切る神事である。無事の場合は、九月二十四日にお礼参りをするとところもある。

二、棒の先に大きな袋と鎌をつけて高く立て、風神に無事を祈る。

三、諏訪地方や諏訪大社の分社では、薙鎌を風鎮めの神として祀る。

四、鎌や人形を農作物の圃場に立てる。

五、御幣を祀る

(イ) 神社からいただいた御幣を田畑の中に立てたり、村はずれの立木やお宮の境内の御神木に縛りつける。

(ロ) 氏神にお参りをして集落境へ御幣を立てる。

六、安曇野市明科柏尾集落

大日堂の風神祭

和紙の白装束を着せたわら人形に願いごとを書き、無病息災などを願う。風邪がもたらす悪霊を払う祭りである。

七、筑北村乱橋

諏訪神社の風神祭

二百十日前日の宵、神主が神殿で鎌とアゲズイノウ、ススキの穂を縛った二mの太い竹棒を神殿の風上の方に向けて神事を行う。

竹棒は、依り代として神社長水田に立てるといふ。

風祭りの神具について

県内で風害を防ぐ風祭りに使う神具は、鎌とスノノウが主である。

(イ) 鎌について

鎌は竹竿や屋根峯などに固定するため、農具の草刈り鎌や刈払鎌（カップライ鎌）を祀る所が多い。諏訪地方では、大社の係わりか、薙鎌を祀るところが多い。

長野市の風間神社には、宝物として箱入りの「風切鎌」が伝わっている。鳥型の薙鎌で、風祭りの神具であったと推察される。

(ロ) アゲズイノウについて

アゲズイノウは、スノノウが訛ったものである。

スノノウは、そこを馬尾毛【ばす】針金・竹などで細かく編んだ飾【ふるい】で、うどん・そばなどの麺類をすくいあげるのに用いる。

筒形とテニスのラケット形がある。風祭りには、ラケット形のアゲズイノウが神具として祀られる。

風祭りの祝詞について

祝詞【のりと】は、祭りの儀式に神前で神主が唱えて祝福や願いごとを奏す詞である。

奈良県生駒郡三郷町の竜田大社の祭神は、風を司る神・天御柱命・国御柱命で、五穀豊穡を祈願する神として有名である。「竜田の神の祭」で奏されたのが始まりという。

中信地方の祝詞の一部は「悪しき大風・大雨吹き荒ぶこと無く」である。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ図書館

図書館講座 開催

麻績小学校 図工教育支援員の川船賢先生を講師にお招きし、ランプシェード作り講座を開催しました。十五名の参加者が作品作りに挑戦しました。

川船先生に作り方を教えていただきながら、まず黒竹を組み立てて土台作り。そして今回は、和紙に専用の染料で模様を付ける、マーブリングという手法もご指導いただきました。

水面に浮かべた染料が混ざり合い、思いがけない模様や色彩が生まれるたびに、参加者の皆さんからは感嘆



▲こんな模様になったよ

の聲が上がりました。

その他にも、ちぎり絵や幾何学模様等を取り入れ、お互い途中経過を見合い・教え合いながら、更に工夫を重ねて、でき上がっていく様子を楽しむ姿が見られました。



▲思い思いのイメージに



▲心安らぐ手作りの灯り

夏のひとときの、アートに触れる体験。

個性あふれる作品作りを通して、参加者の皆さんが楽しく和やかに交流する機会となりました。

ファーストブック

絵本贈呈の会、開催

令和七年度生まれの赤ちゃん十一名に絵本をプレゼントする会が、九月十七日に行われました。

今回は講師に飯森ひろこさん（新潟県）をお迎えし、絵本の読み語りやわらべ歌を通して、親子で触れ合いながら、優しいひとときを過ごしました。海を表現した鮮やかな布が目の前に現れると目を丸くして見入っていました。



▲親子でわらべうた♪

「タブレットなどの、光や音の強いものはなるべく避け、自然の中にある小さな音にも耳を傾けてみて下さいね」とゆったりとした

時間を過ごす大切さをお話いただきました。

これを機にお気軽に図書館を利用していただければと思います。

お知らせ

麻績村文化祭

本のリサイクル市開催

日時…十月三十一日（土）

…十一月一日（日）

場所…地域交流センター

三階ロビー

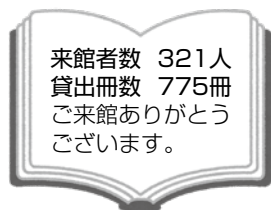
お持ち帰りの袋をお持ちください。

麻績小学校図書館便り

長野県百五十周年！

八月二十一日は長野県の誕生日でした。百五十周年を記念し、信濃毎日新聞でも特集記事が組まれていましたので、ご覧になった方もおありかと思えます。ふだん当たり前と思っていたことが実は長野県独自

前月の図書館



▲長野県には聖地がいっぱい！

のものであったり、身近なことでも気にも留めずに案外知らずにいたりしたことも…。

そこで、図書館内にも新聞を掲示したところ、興味津々で見入っていました。また、百五十周年記念のロゴに選ばれたのは、宮本にお住いの宮下ひろみさん（宮下デザイン制作室）ということも紹介しました。たくさんさんのデザインの中から麻績村の方が選ばれたことは喜ばしいことです。





麻績そよご マルクト開催

村地域おこし協力隊が中心となり、村内外の出店者が個人で作った商品など販売するマルシェイベントを開催します。

キッチンカーなども出店します。多くの皆さまのご来場お待ちしております。



▲昨年度の様子（大和屋）

日時

十一月七日（土）

午前十時から

午後三時まで

場所

役場周辺から

善光寺街道沿い

お問い合わせ

村づくり推進課

（☎六七・四八五一）

令和八年度

中信地域合同障がい者

就職面接会開催

ハローワーク松本では、

障がいをお持ちの方を採用予定のある事業主と、就職を希望する障がいをお持ちの方を対象とした就職説明会を開催します。

参加をご希望の方は、当日直接会場へお出かけください。

日時

十月二十六日（月）

午後二時から

午後四時まで

※午後一時から受付

会場

ホテルブエナビスタ

三階グランデ

お問い合わせ先

ハローワーク松本

職業紹介第二部門

（☎二七・〇一一一）

部門コード 四二（井）

受信環境クリーン月間

十月は「受信環境クリーン月間」です。

総務省信越総合通信局では、テレビ・ラジオの受信障害防止に向けた活動に取り組んでいます。

テレビがきれいに映らない、ラジオに雑音が入って聴くことができない場合には、ご近所でも同じことが起きていないかを確認していただき、無料ですので次の総務省信越総合通信局の担当にご相談ください。

お問い合わせ

○受信障害に関すること

【受信障害対策官】

（☎〇二六・

二三四・九九九一）

○不法無線局に関すること

【監視調査課】

（☎〇二六・

二三四・九九七六）

公民館行事の予定

●第六回麻績学級

日時…十月二十三日（金）

午後二時から

場所…地域交流センター

内容…映画鑑賞

「お終活 再春！
人生ラプソディ」

●文化祭

日時…①一日目

十月三十一日（土）

午前九時から

午後八時まで

※芸能発表は午後一時三十分から

②二日目

十一月一日（日）

午前九時から

午後四時まで

場所…地域交流センター
備考…詳細は、決まり次第、折込みチラシや村ホームページなどでお知らせします。



▲昨年度の様子

●第七回麻績学級

日時…十一月十三日（金）

午後二時から

場所…地域交流センター

講師…信州大学農学部

農学系准教授

内川義行氏

内容…信州大学出前講座
「農村の持続的な
地域資源活用」



お誕生おめでとう



加藤 律葵ちゃん
梓介・香
（天王）

とわに幸あれ

前川 駿太 長野市
柳澤 実希 西之久保より

ご冥福を祈る

吉野 茂輝 95歳 野口